水を語る会

会 報 第５６号

令和５年７月 15 日

水 を 語 る 会

会長　眞柄　泰基

現在の会員数　一般会員 99 名　団体会員５団体　協力会員 10 名　（令和５年３月現在）

講演会の報告（第 44 回会員集会）

日時：令和５年４月 22 日(土)13 時 30 分～15 時 30 分

場所：日本水道会館会議室及び WEB（Zoom）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

講演１：横浜水道の未来を見据えて

～料金改定と西谷浄水場再整備について～

講師：横浜市水道局長　山岡　秀一　様

山岡様には、横浜市が令和３年に行った料金改定時の経緯や苦慮した点、当時の対応についてお話いただきました。現在行っている西谷浄水場の再整備事業の話では、事業の目的や効果、進捗状況等についてご説明いただきました。また、神奈川県内水道システムの再整備の話では、将来の神奈川県の水道について周辺事業体との協議状況や、現在の課題等についてご説明いただきました。

最後には、安定した水道事業経営を実施していくためには、最も重要なのは「ヒト」ということをおっしゃっており、とても印象的でした。

写真-1　講演中の山岡様

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

講演２：「豊平川水道水源水質保全事業

～　ヒ素の抜本的対策を目指して～」

講師：札幌市水道局長　佐々木　康之　様

佐々木様には、札幌市水道局が長期間にわたり、対策を検討してきた豊平川のヒ素対策について、お話いただきました。

様々な利害関係者との調整や、抜本的なリスク対策であるバイパスシステムについて複数の検討案をシミュレーションし、苦労を重ね、多くの関係者の協力によって課題が解決できたとご説明いただきました。

2025 年度にはすべての工事が完了し、総合試運転を経て供用につなげていく計画とのことです。

写真-2　講演中の佐々木様

定例幹事会の報告

日時：令和５年７月 22 日(土)　12 時～12 時 50 分

場所：日本水道会館及び WEB 会議

議題：①今後の会員集会について

②講演録の作成状況確認

③その他

編集後記

世間では、コロナによる様々な制約がなくなり、コロナ前の生活に戻りつつあります。本会においても、対面による開催や、意見交換会など、従来の活動に戻りつつあります。一方で、コロナによって急速に普及した Zoom による配信も継続していきますので、水を語る会の活動を通して会員間の交流が広がることを願っております。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。（幹事　猪股）

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

→ http://mizuwokatarukai.org /